

北学園グランドデザイン

めざす子どもの姿

- 自分のよさや可能性を信じ、夢や目標の実現に向かって粘り強く取り組むことができる子
- 知的好奇心をもち、素晴らしいものに素直に感動できる子
- 自分を大切にし、他の人のよさや違いを認めることができる子
- 人とのつながりを実感し、誰かのために貢献できる子

＜北方町教育委員会の方針＞
主体的でたくましい北方の子の育成

＜北方学園の方針＞
だれもが安心して学び合える学園

＜学校教育目標＞
自ら考え よりよく生きる

めざす学校像

- 自分の居場所があり、誰もが安心して学び合える学校
- だれもが「今日も学校に来てよかった」と思える学校
- 地域・保護者と共に歩む学校

教師の構え・徹すること

寄り添うとは・・・

- 場所につく、子どもにつく、心につく、そして、その子の事実を見る
- その子のことを心の底から理解する
- その子のよさに、心の底から感動できる
- 「子ども」の可能性を信じる
- 「子ども」を主語にして考え、誰一人取り残さない

9年間で連続した教科指導 ・ 9年間で連続した生徒指導

1部:1～4年生

基礎基本を確実に身に付ける

2部:5～7年生

思考力・表現力を伸ばす

3部:8・9年生

個性を伸ばす

幼保(認定こども園)・小の接続を円滑にし、9年間切れ目なく着実に力を伸ばす

(系統的な指導・多様な異学年交流・リーダー学年の活躍の場)

＜ICT教育・英語教育・特設教科「北方科」の推進、教科担任制の推進、9年間を見通したカリキュラム＞

自立

「分かる」・「できる」を次につなげ、学び続ける

- 主体的・対話的で深い学びの実現
 - ★夢になる授業の創造
 - ★一人一人の学びを保障する授業の創造
 - ・小集団学習による協働的な学び→「分からない」「どうして」を聞き合い、学び合う
 - ・知的好奇心をそそる課題、発問
 - ・9年間を見通したカリキュラム
- ICT機器を効果的に活用した個別最適化された学びの実現
 - ・タブレットの効果的な活用
 - ※ロイロノート
- 9年間を見通した英語教育・英語活動の推進
 - ・英語に慣れ親しむ→理解し合う→伝え合う
 - ・英検I・BAの実施

共生

一人一人の違いを認め合う

- 多様性を認め合う居場所づくり
 - ★認め合い高め合う学級づくり
 - ・お互いを理解できる仲間関係
 - ・一人一人が輝く仲間関係
 - ・対話を通して問題解決(自治力)
 - ★異学年交流の充実
 - ・ペア学年等の工夫した活動
 - ★人権・道徳教育の推進
 - ・人は対等であるとい意識の醸成
 - ・考え議論する道徳の授業
 - ・いじめを考える日
 - ・人権を考える日
 - ・特別支援学級の交流活動
 - ・ユニバーサルデザインと合理的配慮
- 認定こども園との連携
 - ・15年間カリキュラム
 - ・命を守る訓練
 - ・引き渡し訓練

創造

誰かのために貢献できる

- 自分たちで築き上げる児童生徒会活動
 - ・感動的な児童生徒会行事
 - ・地道に役割を果たす
- 夢や目標を抱き、やるべきことを粘り強く取り組む
- 自分のよさを精一杯発揮する
- 特設教科「北方科」の推進
 - ・地域の自然や人に触れる→よさを学ぶ→現状や歴史を知る→地域の将来を考える
- 誰かの役に立つ
 - ・ボランティアカードを活用した地域貢献
- 夢や希望をもつキャリア教育
 - ・様々な人の生き方から学ぶ
- 北学園と南学園の交流
 - ・部活動、旅行の行事、北方科、キャリア教育等

＜カリキュラムマネジメント＞

- ・教科等横断的な教育課程の編成
- ・地域と連携した授業の編成

＜教職員集団＞

- ・いつも明るく元気な姿で子どもに接する
- ・組織で動く(報告・連絡・相談+確認、フェイストゥフェイスのコミュニケーション、指導観の統一)
- ・同僚性を抱き、主体的・対話的に学び合う(自己研鑽に努める)
- ・教育公務員としてのコンプライアンス意識、マナー遵守。

＜働き方改革＞

- ・「和」と「ゆとり」のある職員室
- ・子どもと向き合う時間を確保する勤務体制の工夫
- ・義務教育学校の特色を生かし業務改善(部活動等)
- ・ハラスメントの速やかな察知と解決

＜地域・保護者との連携＞

- ・学校運営協議会を核とした地域と共に歩む学校体制づくり(外部人材の積極的な活用等)
- ・関係諸機関との日常的な連携(P.T.A、北方コミュニティ学園協議会、自治会、民生・児童委員会、子相、警察等)
- ・認定こども園、保育園との連携(0歳から15歳までを見通した教育)
- ・学校からの情報発信(H.P、デジタル学校だより等)

＜危機管理意識の高揚＞

- ・子どもの安全、安心を守り抜く(命と心→即時対応)
- ・常に居場所確認
- ・保健指導の徹底(感染症防止対策等)
- ・施設、設備の安全管理(日常的に)